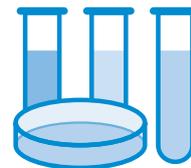


細菌検査統計報告 (当検査センター受託分)

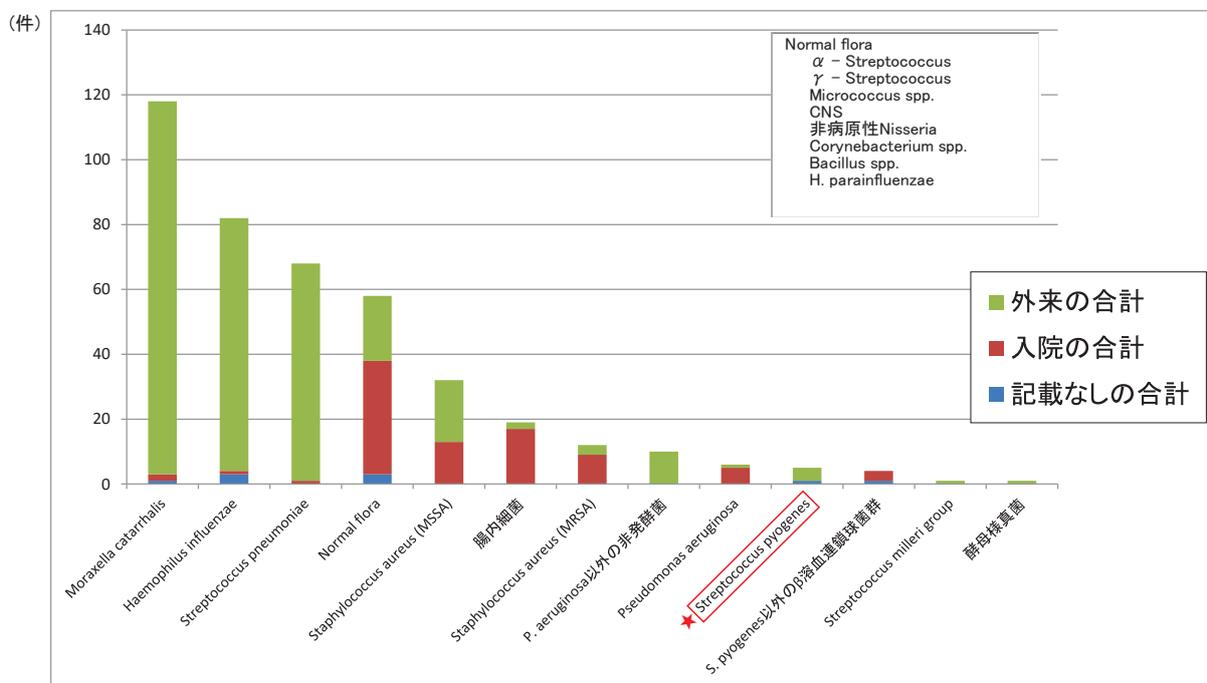


当検査センターで受託した細菌検査における細菌検出状況及び細菌薬剤感受性情報を一部取り上げご報告いたします。全体の情報は当検査センターホームページに掲載されていますので、併せて診療にお役立ていただけたら幸いです。

今回は、咽頭・鼻漏・鼻腔・扁桃の細菌検出状況を掲載いたします。

【細菌検出状況】

【咽頭・鼻漏・鼻腔・扁桃】細菌検出状況 2023年01月



Streptococcus pyogenes はヒトの咽頭などの上気道や表皮に常在するグラム陽性の連鎖球菌です。急性咽頭炎や扁桃炎などの上気道炎、中耳炎や創傷感染など、様々な疾患の原因菌となります。Lancefield (ランズフィールド) 分類で group A に属するためA群溶血性レンサ球菌やA群溶連菌などと呼ばれることもあります。

2023年1月に当検査センターでは咽頭・鼻漏・鼻腔・扁桃で5件の *S. pyogenes* が検出されています。また、2022年は1か月平均3.5件の検出でした。

呼吸器系材料では依頼書Ⅱの目的菌チェック欄に「A群溶連菌」という項目がありますので、*S. pyogenes* が疑われる場合はこちらをご依頼ください。

当検査センターホームページでは細菌検出状況(検査材料別)、細菌薬剤感受性情報(菌種別)、薬剤耐性菌分離状況情報についての情報をご覧ください。 <http://www.labo.city.hiroshima.med.or.jp/>

検査科微生物係